

近松門左衛門没後300年記念シンポジウム

近松研究の未来にむけて



「平家女護島」西光亭芝国・春好斎北洲 画より

江戸時代に人形浄瑠璃・歌舞伎の作者として活躍した近松門左衛門。ゆかりの地
尼崎に1989年に設立された近松研究所は35年間、近松研究の拠点として活動して
きました。近松の没後300年にあたり、第一線で活躍する研究者をお招きして、“近松
研究の今”を紹介するとともに、近松研究所の向かうべき未来について考えていきます。



近松門左衛門

「睡餘小録」より

2024 11/24 日 13:30~17:00

園田学園女子大学 3号館2階AVホール

入場
無料

【シンポジスト】

久堀 裕朗(大阪公立大学教授・近松研究所 評議員)
「近松浄瑠璃研究の現在地-『曾根崎心中』を例に-」

藤澤 茜(神奈川大学准教授・近松研究所 評議員)
「絵画資料から読み解く近松作品」

堤 邦彦(京都精華大学名誉教授)
「江戸の怪異表象~恋の魔境をどう象るか~」

【モデレーター】

大江 篤(近松研究所 所長・本学学長)
坂本 美加(近松研究所 研究員・本学講師)

【主催】

園田学園女子大学近松研究所

【後援】

兵庫県教育委員会
尼崎市・尼崎市教育委員会

要事前
申し込み



TEL

06-6429-9928

E-mail

chika1124sym@sonoda-u.ac.jp

問合せ先



園田学園女子大学 近松研究所

〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1